

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、預金、貯金、未収入金、前払費用、仮払金、貯蔵品、立替金、預け金、未払金、前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	1,352,758,480	1,507,493,403
未収入金	156,417,898	159,346,352
前払費用	1,989,738	2,147,888
貯蔵品	2,760,000	2,050,000
立替金	4,113,594	3,805,142
預け金	20,000	20,000
合 計	1,518,059,710	1,674,862,785
未払金	184,533,089	169,819,403
前受金	7,514,958	7,514,958
預り金	7,435,093	7,096,716
合 計	199,483,140	184,431,077
次期繰越収支差額	1,318,576,570	1,490,431,708

3. 予備費の使用及び予算の流用

(1) 予備費の使用はない。

(2) 予算の小科目間流用

【一般会計】

①「総務部費支出」383,626円の予算不足額を「総合企画室費支出」から流用した。

②「運営評価委員会費支出」17,668円の予算不足額を「顧問相談役会費支出」から流用した。

③「全国事務局連絡会議費支出」770,944円の予算不足額を「対外機関連絡費支出」から流用した。

【電子証明事務特別会計】

④「認証局運営費支出」1,188,000円及び「雑支出」230円の予算不足額合計1,188,230円を「人件費支出」から流用した。